

# 「共生社会」－ 障害者支援の現場は何をめざすのか！

2月17日（土）10:00～16:30

基調講演

「共生社会」を考える ～本人中心の視点から

**尾上 浩二 氏**（DPI 日本会議副議長）

パネルディスカッション

まぜこぜトーク～現場が創る共生社会とは？

中西 昌哉 氏（ベテスダの家・京都）

奈良崎 真弓 氏（本人会サンフラワー・神奈川）

下郡山 和子 氏（つどいの家・宮城）

尾上 浩二 氏（前掲）

小林 博 氏（藤沢育成会・神奈川）

障害者が社会の中でごく当たり前の市民として生きていくために、我が国の現状ではまだまだ様々な形で権利が制約されています。障害者の権利条約が掲げる理念が十全に実現されているとは、残念ながら言いえない現実があります。「共生社会」というキーワードを私たちは、何よりも障害者の権利が実現される社会という、ひとつの社会デザインの理想的なイメージとして語ってきました。一方で、平成28年6月2日に安倍内閣が閣議決定した「ニッポン一億総活躍プラン」のキーワードのひとつとして「地域共生社会」という言葉が躍り出てきて、福祉関係者の耳目を集めています。私たちが手ずから育ててきた「共生社会」と、言わば現行内閣の政策用語として編み出された「地域共生社会」は、何が同じで何が違うのか。障害者支援の現場を最前線で担っている仲間が一同に会して、熱い議論を戦わせたいと思います。

2月18日（日）9:30～15:30

分科会

- ①意思決定支援（本人の「声」を聴き、本人の主体、思いを支える関わりについて、実践から考える）
- ②サポートシステム（本気で実現しよう「地域の暮らし」）
- ③エピソード記述（利用者支援の本質を求めて～「こだわり」のある方の事例から考える）
- ④行動障害（行動障害のある人の本当の思いの理解に向けて～行動対応VS意味理解的アプローチ）

## ◆ 会場 新宿NSビル（東京都新宿区西新宿2-4-1）

NSスカイカンファレンス（30F）

NS会議室（3F）

## ◆ 参加費（懇親会費 別途5,000円）

【両日とも参加】正会員10,000円 情報会員11,000円 その他12,000円(学生6,000円)

【1日のみ参加】正会員 6,000円 情報会員 6,500円 その他 7,000円(学生3,500円)

- \* 詳細は、開催要項 または サポート研ホームページをご覧ください。
- \* 定員になり次第、締め切ります。

### <主催>全国障害者生活支援研究会（サポート研）

神奈川県川崎市川崎区京町2-24-4-608

TEL/FAX 044-271-8788

ホームページ: <http://support-ken.net/>

E-mail support-ken@forest.ocn.ne.jp

### <申込先>京王観光(株) 調布支店

TEL 042-484-2881

FAX 042-484-1321